

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策02 健康づくりの推進	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の環境変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化の進展 ・ 生活習慣病などの増加による疾病構造の変化 ・ 健康への関心の高まりと、様々な健康情報の氾濫 ・ 特定健診、後期高齢者医療制度などの医療制度改革に伴う健診体制の変更 ・ 国における予防接種制度やがん及び肝炎対策等の疾病予防に関する制度改正の進展 	<p>箇条書きのままでは、1つ1つが全て同じ力関係に見えてしまう。文章化しないとしても、力関係に合わせて1段下げて記載するなど工夫した方が良いように思う。</p>	<p>指摘のようにすることで、市民にとって流れや因果関係がわかりやすくなるのであればそのような記載も検討する。</p>
<p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活を可能とする生活機能の維持向上による健康寿命の延伸 ・ 生活習慣病の予防と生活改善の推進 ・ 生涯を通じた健康づくり施策の充実と普及 ・ 子育て環境の整備のための母子保健事業の推進 ・ 国の疾病予防対策制度に対応した迅速な取組 ・ 地域医療に関わる病診連携と休日及び夜間の救急医療の確保 		

担当部署の評価内容	委員の意見
<p align="center">【意見・提言】</p>	<p>「地域巡回健康教室」の成果指標は参加者数、活動指標は開催回数となる。このような活動指標や成果指標をどちらかに設定した方が市民にとってわかりやすいものとなるので検討していただきたい。</p>
<p>【目的】 医療体制を充実するとともに、心身の健康づくりを進めることによって市民一人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできることを目指します。</p>	<p>達成状況で「国の公衆衛生政策と連動した」とあるが、このことが環境変化や課題に入っているのであれば、施策の目的の記載もそのことを念頭に置いた文章に改めた方が良いのではないかと。</p>
<p>【意図】 市民1人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできるよう、疾病や障がい減らす（地域医療含む）。</p>	<p>対象が「市民」となっているが、目的や意図では「長寿」という言葉が出てきている。この施策の中の基本事業で母子保健のことなどを扱っている点からすると、「長寿」とは別に「子供たちの健全さ」に関わるような文言も目的や意図の部分で触れておいて良いのではないかと。</p>

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策02 健康づくりの推進 基本事業01 疾病の早期発見、早期治療及び予防の促進	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】 総体的な健診受診率は、平成20年度には特定健診の実施主体が医療保険者へと移管されたことに伴う混乱もあり低下したが、21年度以降は、継続的な市の啓発活動に加え、ピンクリボン運動など全国的な啓発活動の広がりや国策としてのがん検診推進事業等の効果もあり、回復傾向にある。今後も身近な医療機関を通じた受診勧奨や健診制度の周知等に努めていく。</p>	<p>がん検診の一次健診を受けるということが大事なのだが、せっかく一次健診を受けて何らかの異常が見つかったにも関わらず、精密検査を受けないというケースもあるため、「健診事後指導を強化」に尽力しているのであれば、その部分を補記した方が良い。</p>	<p>達成状況で記載をするようにする。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【目的】 健康診査・がん検診を通して、疾病を早期に発見するとともに、生活習慣病予防のために、健診事後指導を強化することにより病気の予防、生活習慣の改善が図られます。</p>	<p>「健診のみならず、かかりつけ医をもつことで異常を早期に発見する」ということを背景にして成果指標「かかりつけの医師をもっている市民の割合」が設定されているのであれば、「日ごろからかかりつけ医によって自己管理をしていく」という記載が目的のところであっても良いのではないか。</p>

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策02 健康づくりの推進 基本事業02 健康づくり活動の推進	適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】 市内11カ所での地域巡回健康教室の継続、自主サークル活動の定着のほか、関係機関によって運動習慣定着のための取組が数多く行なわれており、健康意識の高まりが見られる。 地域健康づくり推進員の活動では、推進員相互に協力して積極的にその地域の諸課題に対応した活動に取り組んでいるほか、22年度完成させたウォーキングマップを活用した取組など、江別・野幌・大麻の地区ごとにグループ化して講演会や運動教室などの事業が活発化している。</p>	<p>成果指標で「健康を維持するために実践している項目数」とあるが、代表的な項目を達成状況などに記載した方が市民にとって、より身近なものとなりわかりやすいのではないかと指摘されている。</p>	<p>記載を検討する。</p>

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策02 健康づくりの推進 基本事業03 母子保健の充実	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】 乳幼児健診受診率は横ばいであるが高い水準を維持している。少子化が進展するなかで、各種健診や継続的な相談事業など、妊婦や乳幼児の健康保持増進及び保護者の育児力向上のため多くの取組を行い、安心して出産・子育てのできる環境づくりに努めている。地域子育てサロン、乳幼児虐待予防事業等の関係機関と連携した育児不安や困難感への支援を強化してきており、定性的には成果を上げてきている。</p>	<p>押さえた数値等を市民に対してどのように出していくかを工夫しなければいけない。例えば育児相談が多いことをマイナスの表現で出すのではなく、それだけ相談がしやすいというプラスの表現をすることで江別市の保健センターは近づきやすく、安心できる場所であるという捉え方ができる。そのようにしていくことで「江別市は安心して子どもを産めるまちだから第二子・第三子も産みたい」と思えるまちづくりをしていくことが行政の役割なのだと思う。行っていることは十分にわかるが、そのようなことが読み取れるような表現の工夫が必要である。</p>	<p>表現の工夫を検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【意見・提言】</p>	<p>基本事業の目的に「両親学級」とあるが、成果指標としてそれに関するものがない。せっかく「両親学級」という言葉ができてきたので、なんらかの指標などで表現できないか検討してほしい。</p>

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策02 健康づくりの推進 基本事業04 医療体制の充実	要検討

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【対象】 市民	対象を「市民」としているならば「休日当番対応医療機関数」と「救急対応医療機関数」とはあくまで活動指標であり、それぞれの医療機関での「受診者数」が成果指標となるべきではないか。もしくは、対象が「市民」ではなく「市民及び医療機関」などではないか。	検討し、適切な指標や表現方法を探る。
【成果指標】 休日当番対応医療機関数（内科小児科） 救急対応医療機関数（外科系）		